

ハン格林使用マニュアル

■ 目次 ■

はじめに	・・・ 3
1. インストールとアンインストール	・・・ 4
1. 1 インストールの概要（手順）	
1. 2 前準備（韓国語用の Microsoft IME の設定）	
1. 3 インストールの注意点	・・・ 5
1. 4 インストール先フォルダ	
1. 5 バージョンアップについて	・・・ 6
1. 6 アンインストールについて	
2. 試用制限とライセンスキーの登録	・・・ 7
2. 1 試用制限の内容	
2. 2 ライセンスキーの登録方法	
3. 文字の入力	・・・ 8
3. 1 ハン格林方式とは	
3. 2 ハン格林方式を用いたハングル入力	
3. 2. 1 2,350 字のハングル	・・・ 9
3. 2. 2 11,172 字のハングル	
3. 2. 3 字母	・・・ 10
3. 2. 4 韓漢字	・・・ 11
3. 3 Microsoft IME を用いたハングル入力	・・・ 13
3. 4 オプション	・・・ 14
4. 他のアプリケーションへの文字転送	・・・ 15
4. 1 文字転送の仕組みと手順	
4. 2 転送モード	・・・ 16
4. 3 転送オプションとアドバイス	
5. 単語帳の使い方	・・・ 17
5. 1 単語帳の仕組み	
5. 2 単語帳の新規作成	・・・ 18
5. 3 単語登録	・・・ 19
5. 4 単語編集	・・・ 20
5. 5 単語帳検索	・・・ 21

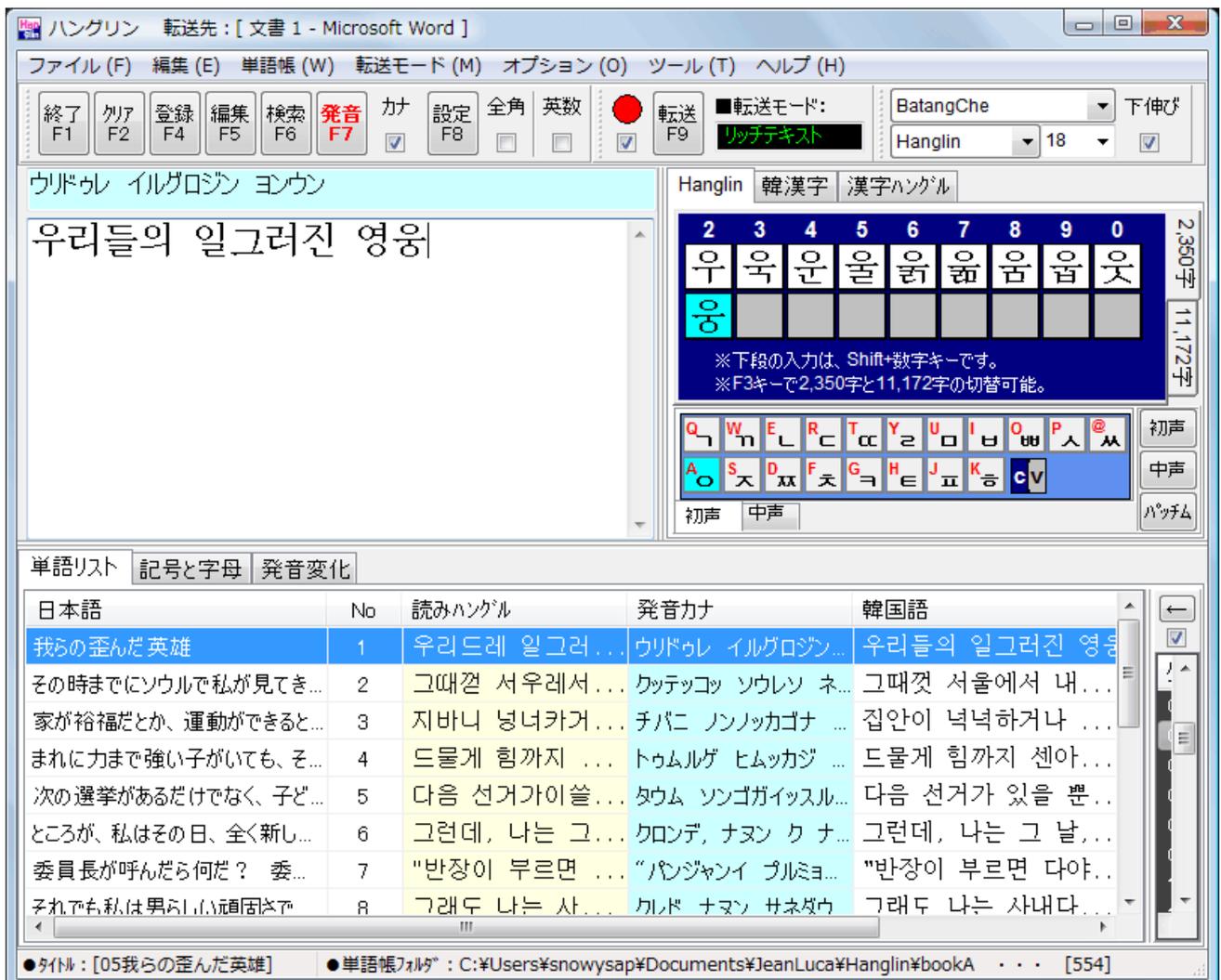
5. 6	各種単語帳操作	・・・ 2 2
5. 6. 1	単語帳について	
5. 6. 2	単語について	
5. 6. 3	単語帳フォルダを変更する	・・・ 2 3
5. 7	単語帳のオプション	・・・ 2 4
6.	ハングル発音変換	・・・ 2 6
6. 1	操作	
6. 2	仕組み	・・・ 2 7
6. 3	オプション	
6. 4	適用される規則	・・・ 2 8
7.	こんな時はどうする	・・・ 2 9
8.	ライセンス契約	・・・ 3 0
9.	サポート (サポートサイト、連絡先)	・・・ 3 2
10.	参考文献	・・・ 3 2

はじめに

2000年12月にハン格林というハングル入力ソフトを公開してから14年になりました。そのころは、WindowsXpの出る前で、Windowsには韓国語IMEは標準では入っておらず、マイクロソフトのサイトからダウンロードして使う形態でした。その時に簡単にハングルを入力できるツールをと思い作ったのがハン格林でした。まだ単語帳機能はなく、初声と中声を指定するとハングル候補が表示され、そこから入力したいハングルを選ぶ仕組みでした。その後、ハン格林GTで単語帳機能を追加し、よく使う表現や単語を登録して学習や文書作成に役立てるようにしました。その後ハン格林UCではすべてをユニコード化すると共に、発音記号を入力する手段も付加するなど改良してきました。

今回、原点に戻り、以下の3つのことを実現することを目標にし、名前も初代の「ハン格林」(Hanglin)に戻すことにしました。なおカナ以外の発音表記は、ハン格林UCでは発音記号でしたが発音記号は、あまり韓国語では使われないので、読みハングル(発音をハングルで表記する)に変更しました。

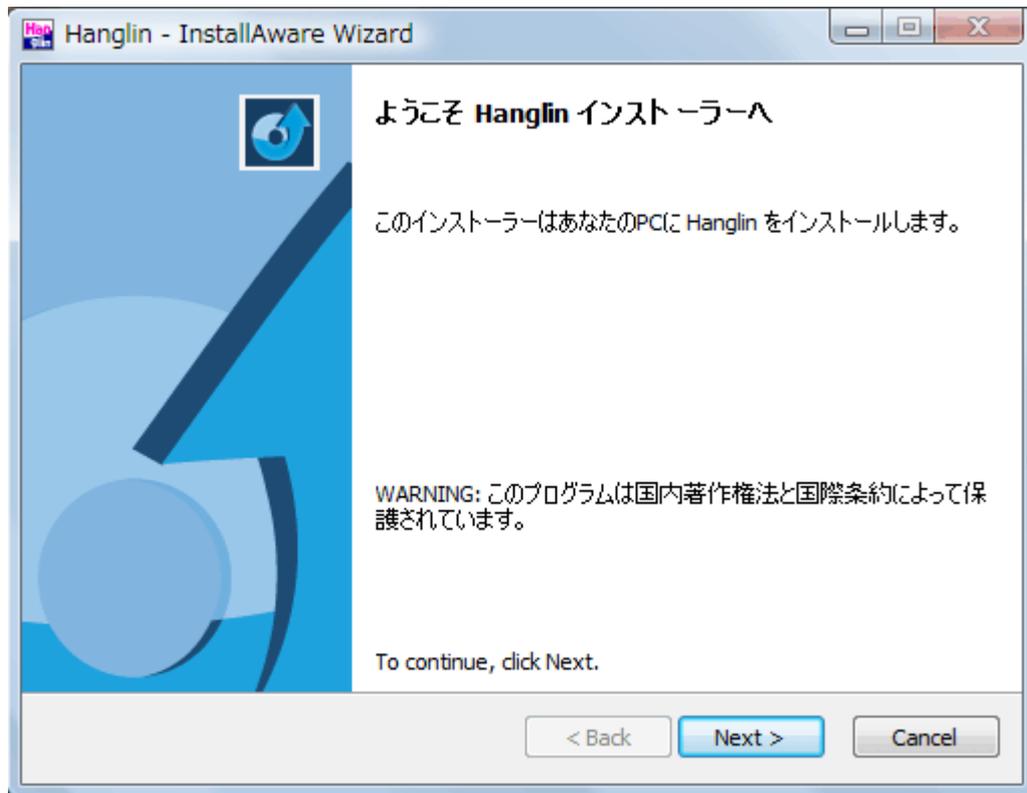
- ① 韓国語の文章作成に必要なハングルや字母、記号をキー操作で楽に入力できるようにする。
- ② ハングル文章から、その発音を自動で得られるようにする。
- ③ 学習時に必要な、基本的な辞書を組み込み、楽に検索、利用できるようにする。



1. インストールとアンインストール

1. 1 インストールの概要（手順）

このソフトウェアは、Install Aware というアメリカ製のソフトで作ったインストーラーの形で、提供します。インストーラーはダブルクリックで起動され、すでに旧バージョンがインストールされている場合は、自動で古いバージョンを削除してから新しいバージョンをインストールします。最終的にデスクトップにハン格林起動用のショートカットを作り、ソフトを起動して終了します。



1. 2 前準備（Microsoft IME の設定）

ハン格林では韓国語入力に独自のハン格林方式を使いますが、別の入力モードとして Microsoft IME も使えます。入力モードを切り替えると、ハン格林を入力するエリアで Microsoft IME を自動呼出ししますが、どのアプリでも使えるようにするには、IME の設定が必要です。

1) 韓国語用 Microsoft IME を使えるようにするには（Windows 7 を例に）

- ① 「コントロールパネル」を開く
- ② 「キーボードまたは入力方式の変更」を選ぶ
- ③ 「地域と言語」画面、「キーボードと言語」タグ中の「キーボードの変更」ボタンを押す。
- ④ テキストサービス入力言語画面で「インストールサービス」の階層の表示されている部分に、「韓国語」がないかを調べます。なければ、「追加」ボタンを押す。
- ⑤ 「韓国語」「キーボード」「Microsoft IME」を選び、「OK」ボタンを押します。
- ⑥ テキストサービス入力言語画面で「OK」ボタンを押し、画面を閉じます。
- ⑦ 「地域と言語」画面を「OK」ボタンで閉じます。

2) 韓国語用 Microsoft IME を使うには

ワードなどアプリケーションを起動し、そこで、Shift キーを押しながら Alt キーを押すと、PC の画面下のタスクバーの入力言語 (IME) が切り替わります。そこで、ハングル入力 IME になれば、ハングル入力ができます。キー操作でなく、タスクバーをクリックしても変更は可能です。

1. 3 インストールの注意点

まず、最新版のハングルインのインストーラーを入手して下さい。ダウンロードしたファイルをダブルクリックすると、インストール画面が現れます。デフォルトのインストール先フォルダは C:\Program Files\JeanLuca\Hanglin です。変更しないで下さい。Windows 8 など 32 ビット、64 ビット別の Program Files がある場合は、32 ビット用を用います。

なおインストール後、ショートカットをダブルクリックしても、ハングルインが動作しない場合は、セキュリティソフトに原因がある可能性があります。実際、Norton 360 というソフトが「高度に危険」なソフトとして私どものソフトを認識し、ショートカットを切った事例がありました。その場合は、セキュリティソフトの中の「検疫履歴」からハングルインを探し、「復元」するなどの対策をとると直ると思います。

1. 4 インストール先フォルダ

インストールは2段階で行います。最初にインストーラーを起動した時、インストーラーが PC の C ドライブの Program Files フォルダに必要なファイルをすべてコピーします。そしてインストーラーは最後にハングルインを起動しますが、その時、プログラムを動作させるために必要なファイルや、サンプルの単語帳や辞書を、ハングルイン自身が新たにフォルダを作成しそこにインストールします。Microsoft は、Windows の C ドライブの Program Files フォルダの下にプログラムが新たなファイルを作ったり、ファイルを書き換えたりするのを禁じています。ですので、2段階目のインストールで、プログラムが動作に必要なファイルを、作ったフォルダの下に作成し利用します。

1) プログラムを動作させるために必要なファイルを保存するフォルダ

[1] Windows Vista,7,8 の場合

- ・ C:\Users\[ユーザー名]\AppData\Roaming\JeanLuca\Hanglin

[2] Windows Xp の場合

- ・ C:\Documents and Settings\[ユーザー名]\Application Data\JeanLuca\Hanglin

2) サンプル単語帳や辞書ファイルを保存するフォルダ

[1] Windows Vista,7,8 の場合

- ・ C:\Users\[ユーザー名]\ドキュメント\JeanLuca\Hanglin

[2] Windows Xp の場合

- ・ C:\Documents and Settings\[ユーザー名]\My Documents\JeanLuca\Hanglin

1. 5 バージョンアップについて

バージョンアップの作業自体は、インストーラーを起動するだけなので簡単ですが、最初から入っているサンプル単語帳（辞書を含む）についての扱いのみ検討して下さい。標準では、バージョンアップ時にサンプル単語帳は新しいものに更新する設定になっています。これは私どもで間違いが見つかった時に直せるようにそうしています。しかし、ユーザーがサンプル単語帳に新たなデータを加えていた時、それらはなくなります。ですので、更新したくない場合に以下の設定を行って下さい。なお、ユーザーが新たに作った単語帳は一切関係ありません。

1) バージョンアップの時にデータを更新したくない場合：

■操作→ [設定][全般]タグで、「サンプル更新」のチェックを外します。

2) 辞書だけ、最新のものにする。(任意のタイミングで)

■操作→ [設定][全般]タグで、「辞書更新」ボタンを押す。

・すると、1度、更新するか聞いてきますので、「はい」を選ぶと、更新します。

1. 6 アンインストールについて

ハングリンをアンインストールしたい場合、以下の2段階の操作を行って下さい。

1) プログラムをアンインストールする。

※Windows 7 を例にして：

■操作→ [コントロールパネル][プログラムのアンインストール]を選び、出てきた画面で **Hanglin** を選び、ダブルクリックします。

2) プログラムで使用したデータとサンプル単語帳を削除する。

※Windows 7 を例にして

もし私ども（ジャンルカ学習ソフト）のソフトが他に入っていない場合は、以下のフォルダの **JeanLuca** 以下のフォルダとファイルをすべて削除して下さい。もし何かアプリケーションを使っている場合は、**Hanglin** フォルダとその中のファイルだけを削除して下さい。

[1] データファイル

・ C:\¥Usrs¥[ユーザー名]\¥AppData¥Roaming¥JeanLuca¥Hanglin

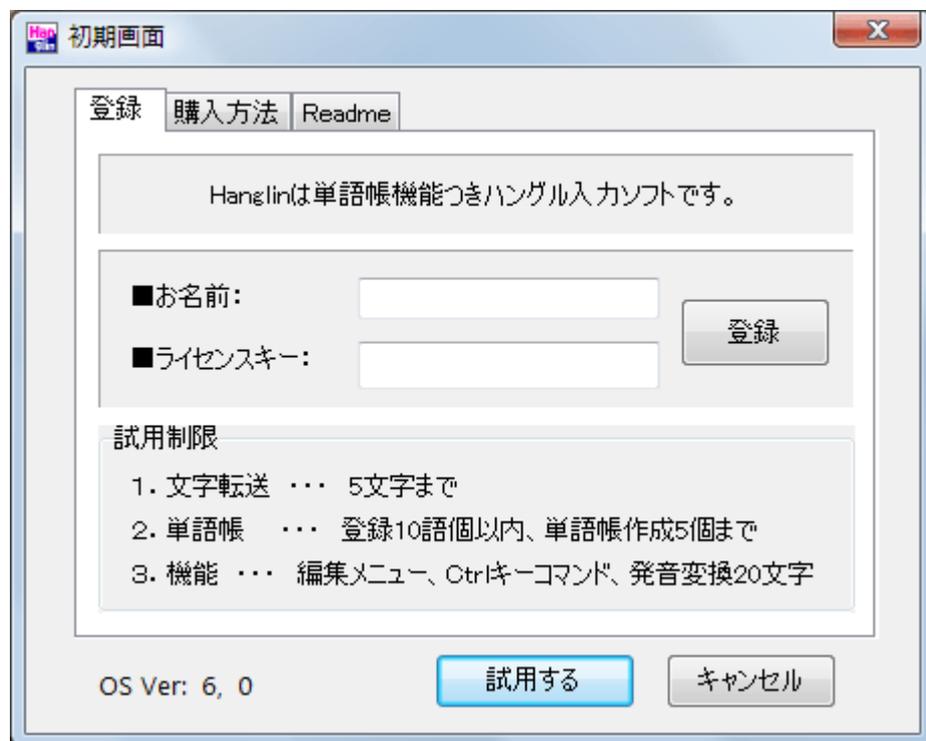
[2] サンプル単語帳ファイル

・ C:\¥Usrs¥[ユーザー名]\¥ドキュメント¥JeanLuca¥Hanglin

■操作→ エクスプローラーを開き、上のフォルダを探し、削除する。

2. 試用制限とライセンスキー登録

インストーラーを起動すると、インストール作業の最後に、ハングリンを自動で起動します。その時表示される画面が下の画面です。この画面は、試用中は必ず表示されます。



1) 試用中は以下の4つの制限があります。

- ① 1度に他のアプリケーションに転送する文字は5文字以内
- ② 単語帳に登録できる単語数は10個以内。作成できる単語帳は5個以内。
- ③ クリップボードを用いた操作。[編集]メニューとCtrlキーを用いた操作
- ④ ハングル発音変換で一度に変換できる文字数20文字

2) ライセンスキー登録について

試用されて購入を決断して頂いたら、初期画面の購入方法をご覧になり、いずれかの銀行に送金するかVectorのシェアレジを使って決済して下さい。するとライセンスキーをメールで入手できます。ライセンスキーとは英文字と数字からなる文字列を指します。入金確認した場合、作者はお名前情報（姓と名前を漢字で表記したもの。カタカナひらがなが入っても構いません。）から、独自のライセンスキーを生成し、メールでお送りします。

ライセンスキーが届いたら、お名前情報とともに初期画面にライセンスキーを登録して下さい。すると、今後初期画面は出なくなり、デスクトップのショートカットアイコンをダブルクリックすると、主画面が表示されるようになります。また試用制限も全て外されます。

なおライセンスキーを忘れた場合は、作者にお名前とソフト名を記載してメールで、再発行を求めて下さい。できるだけ迅速に再発行致します。（サポート期限は購入日より7年です。）

3. 文字の入力

3. 1 ハングリン方式とは

3. 1. 1 ハングリン方式のメリット

ハングリン方式とはジャンルカ学習ソフト（代表 今井隆行）が 1999 年に考案したハングル入力方法です。Windows OS には韓国語用の Microsoft IME が標準で入っていますが、これは 2 ボル式といってハングルを構成する基本字母キーを押しハングルを入力する方法で、最もポピュラーな入力方法です。しかしこの方法を日本人が使う場合、いくつかの不便さを持っていると思います。

- ① 初声と中声だけからなるハングルの場合、次のハングルの初声字母を入力しても文字は定まらず、さらにその次の中声を入力して初めて前の文字が定まるので、不安になる。
- ② ㅟなど合成母音を入力する場合、基本母音の入力順番を覚えないと正しく入力できない。
- ③ 2 文字パッチムや合成母音を持つハングルは入力キーのストロークが多くなる。

ハングリンは、ハングル初心者にもハングルを入力しやすいような工夫がされています。

- ① 初声と中声を定めたら、それらで構成されるハングルの最大 18 個だけを候補として表示し、そこから入れたい文字の形と同じものを探し文字を選ぶので間違えにくい。
- ② 合成母音も辞書配列の中の 1 つの母音として扱うので母音字の入力順を気にしなくていい。
- ③ 2 文字パッチムも 1 文字パッチムと同じストロークで入力できる。
- ④ 入力できるハングルも、よく使うハングル 2,350 文字を中心に、全ハングル 11,172 文字、およびすべての字母をシームレスにキーボードから入力できる。

3. 1. 2 入力モード指定

このソフトにはハングルの入力モードとして[Hanglin]と[MS IME]の 2 つの方式があります。これらは主画面右上の入力モード指定で指定します。、[Hanglin]とは次の章で説明するハングル入力方式です。[MS IME]とは Windows の韓国語用 Microsoft IME を自動で呼び出す方式です。



3. 2 ハングリン方式を用いたハングル入力

3. 2. 1 基本となる 2,350 字のハングル入力・・・最大 18 の候補



【手順】・・・基本となる 2,350 字のハングル入力

例) 韓国語の「こんにちは」の「안녕하세요..」の最初の文字を「안」入力する手順です。

- ① 初声タグで「o」イウンボタンをクリックするか、キーボードから小文字の a を入力する。(すると中声タグに自動的にかわります。)
- ② 中声タグで母音字母「ㅏ」ボタンをクリックするか、キーボードで小文字の q を入力する。(すると、それらの字母で構成されるハングルを表示します。)
- ③ 表示された候補から該当するハングルをクリックするか、数字キーを押し入力します。ここでは数字は[4]。下段の候補の入力の場合、Shift キー+数字キーを押します。

3. 2. 2 全ハングル 11,172 字のハングル入力・・・最大 28 個の候補

「2,350 字」からの移行は、ファンクションキーの F3 キーを押します。



【手順】・・・キーボードによる操作手順

- ① スペースキーと矢印キーでグリーン色の選択ハングルを移動させます。
- ② 決定はエンターキーです。もし矢印キーが効かない場合右上グレーの四角をクリックします。
- ③ 2,350 字のハングル入力に戻るには、ファンクションキーの F3 を押します。

3. 2. 3 字母入力

字母入力には2つの方法があります。11,172 字ハングル画面で候補を表示して入力する方法と、2,350 字ハングル画面で字母を入力する方法です。

1) 2,350 字ハングル画面で字母を入力する方法：

【手順】・・・初声と中声が指定されハングル候補が表示されている時、以下の操作をします。

- ① 初声を入力・・・小文字の[c]のキーを押す。覚え方：子音 consonant の頭文字
- ② 中声を入力・・・小文字の[v]のキーを押す。覚え方：母音 vowel の頭文字

※画面の初声タグ、中声タグにある[c]ボタンか[v]ボタンをクリックしても結構です。

※この画面で2文字パッチムの字母は入力できません。



2) 11,172 字ハングル画面で、字母を入力する方法：

・画面右下の「初声」「中声」「パッチム」ボタンをクリックすると候補が表示される。

【手順】・・・キーボードで操作する場合、以下のキーを押すと、字母の候補が表示されます。

- ① 初声字母・・・キーボードから小文字の[f]のキーを押す。 First の頭文字
- ② 中声字母・・・キーボードから小文字の[s]のキーを押す。 Second の頭文字
- ③ パッチム・・・キーボードから小文字の[p]のキーを押す。 Patchim の頭文字



3. 2. 4 韓漢字入力

韓国で昔使われていた漢字は日本の旧字体、中国語の繁体字に近いもので、種類は非常に多いですが、それらを全部扱うのは現実的ではありません。ここでは韓国語用の Microsoft IME で入力可能な韓漢字に範囲を絞り入力できるようにしています。入力方法は2つあります。

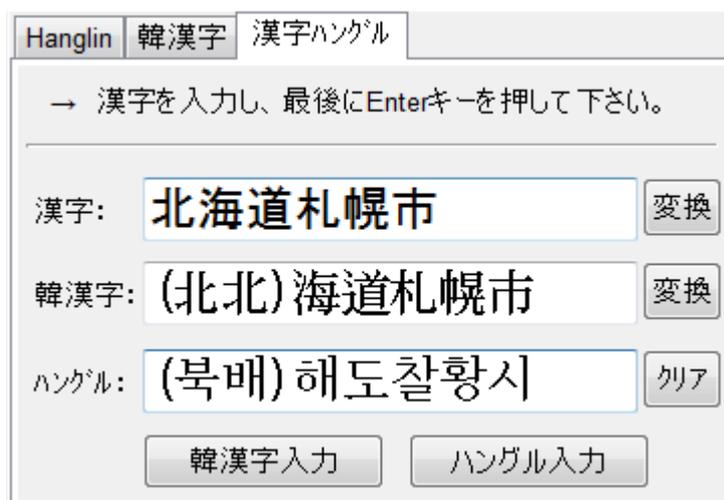
1) 韓漢字チャートからの入力：



【手順】

- ① 最初に 2,350 字ハングル画面で初声と中声を指定する。
- ② ハングリンの裏にある「韓漢字」タグをクリックする。
- ③ 該当する韓漢字をクリックする。

2) 漢字ハングル変換ツールからの入力：



【手順】

- ① ハングリンの裏にある「漢字ハングル」タグを選ぶ。漢字エリアに日本の漢字を入力する。
- ② エンターキーを叩くと韓漢字に変換します。再度、エンターキーでハングルに変換します。
- ③ 「韓漢字入力」ボタンを押します。

3. 2. 5 英数字入力とその他

ハングル文章を入力する場合、ハングルばかりでなく英数字や記号を入力することは多いと思います。ハングリンではキーボードからハングリンを操作するため、ハングリンモードでは一部の英文字キーと数字キーは使えません。そこで、英数字や記号を入力するための手段があります。

1) 半角英数字を入力する

ハングリン使用中に、英数字や記号を入力するには画面上の「英数」チェックにチェックを入れます。するとキーボードからのハングリン操作を一時停止し、本来の日本語 IME になります。

2) 全角英数字を入力する

ハングリン使用中に、全角の英数字を入力したい場合、「英数」チェックに加え、その横の「全角」チェックにもチェックを入れます。内部で半角英数を全角に変換する機能が働き、全角で英数字や記号を入力できます。

3) 各種の引用符や3点リーダーなど、文書記号を入力するには

「記号と文字」で「文書記号」を選びます。

4) ウォン記号（通貨記号）を入力する。

- ・半角ウォン： 「記号と文字」で「英数 ASCII」を選びます。
- ・全角ウォン： 「記号と文字」で「全角記号」を選びます。

※備考：半角のウォン記号は、韓国語のフォントではウォン記号にレンダリングされますが、同じ文字コードを日本語フォントに指定すると円マークになります。

5) マルや括弧の囲い文字など韓国で使われる、記号を入力する

- ・囲い文字： 「記号と文字」で「囲い文字」を選びます。

6) 組み合わせ字母でハングルを入力する

WindowsXp, Vista, 7 まではユニコードのハングル字母 (Hangul Jamo : \$1100-\$11BF) を用いて、ハングル字母を順にならべるだけで1文字のハングルが入力出来る仕組みがありました。(ハングリンや MS IME で入力する1文字1コードのハングルとは文字コードは異なります。)

Windows 8 ではこのハングル字母によるハングルの入力ができなくなりました。理由は不明です。

【手順】

- ① 「記号と文字」で「組合せ字母」を選びます。
- ② 初声、中声、パッチムと順に字母をクリックします。

3. 3 Microsoft IME を用いたハングル入力

入力モード切り替えて[MS IME]を選択すると、右上の入力 PAD がハングリンではなく、韓国語の Microsoft IME のキー配置を示す図に変わります。



この入力モードでは、ハングリン内で韓国語を入力するエリアにカーソルを入れると、自動で Microsoft IME を呼びます。その確認はパソコン画面のタスクバー右下で確認できます。



上のタスクバーは、ハングル入力（英数字ではなく）で、半角モードであることを示します。

3. 3. 1 ハングルの入力

これはマイクロソフトの作った IME ですので、詳細は述べませんが、ポイントだけ述べます。

1) ハングルを入力したい場合：

キーボードの左半分で初声字母、右半分で中声字母を入力し、ハングルを構成して入力します。パッチムを入力する場合は、中声字母の後に続けて初声字母を入力します。パッチムのないハングルを入力する場合は、中声字母を入力した後、右矢印キーでそのハングルを確定させるか、次のハングルの初声字母と中声字母を入力すると、一つ前のハングルが確定します。

2) 英数字を入力したい場合：

右 Alt キーを押します。するとタスクバーの表示が「가」から「A」に変わります。

3) 全角の英数字を入力したい場合：

上の가의右にある、左半分がグレーになった□（Full width/Halfwidth Toggle）をクリックし、全角にします。

4) 韓漢字を入力したい場合：

入力エリアで1文字のハングルを選択状態にし（白黒逆転する）、その後、右 Ctrl キーを押すと、パソコン画面の右下に韓漢字候補が表示されます。選択する1文字ハングルは確定済みのハングルですので文章入力後にも利用できます。

3. 4 オプション

入力エリアのオプションと、フォントのオプションについて説明します。

3. 4. 1 入力エリアのオプション

1) 右端で折り返す：

入力エリアは、初期値では文字入力時に、右端で折り返すようになっています。これを、改行されるまで折り返さないようにすることができます。

■操作： メインメニューで[編集][右端で折り返す] を選びます。

※右端で折り返すと、スクロールバーは水平方向のスクロールバーに変わります。

2) 縦横両方のスクロールバーを表示する

入力エリアに縦横両方のスクロールバーを表示させることができます。ただし、このオプションを利用すると、右端で折り返すことはしません。

■操作： メインメニューで[編集][縦横両方のスクロールバーを表示する] を選びます。

3. 4. 2 フォントのオプション

1) 入力文字サイズ固定

ワードなどでハングル混じりの文書を作成し印刷をする場合、日本語もハングルも文字サイズは 11 ポイント前後の値に設定して文章で作成する場合も多いと思います。そのような場合、ハングリで主画面の文字サイズを 11 前後にすると、文字が見にくいです。

そのような場合、ハングリ内の文字サイズは 18 など大きめのサイズに設定し、ワードなどアプリに転送する際に、実際に用いる 11 ポイントにすることができます。

■操作；

- ① [設定]ボタンを押し、設定画面を出します。
- ② [全般]タグを選びます。
- ③ 「入力文字サイズ」チェックにチェックを入れ、入力エリアの文字サイズを指定します。

※この設定をすると、主画面の文字サイズ指定は、転送字の文字サイズになります。

3. 4. 3 その他

1) 入力エリアのクリア

ハングル入力エリアおよび 1 行入力エリアをクリアするには画面上部の[クリア]ボタンを押すか、ファンクションキーの F2 を押します。

2) 終了させる

ソフトを終了するには画面上部の[終了]ボタンを押すか、ファンクションキーの F1 を押します。

4. 他のアプリケーションへの文字転送

4. 1 文字転送の仕組みと手順

ハン格林から WORD などのアプリケーションに文字を入力する際に、コンピュータのクリップボードというメモリを使って文字を転送します。このクリップボードは WORD の[編集]メニューでも使う、コピー&ペーストで知られています。

1) ハン格林が文字転送時に行うこと

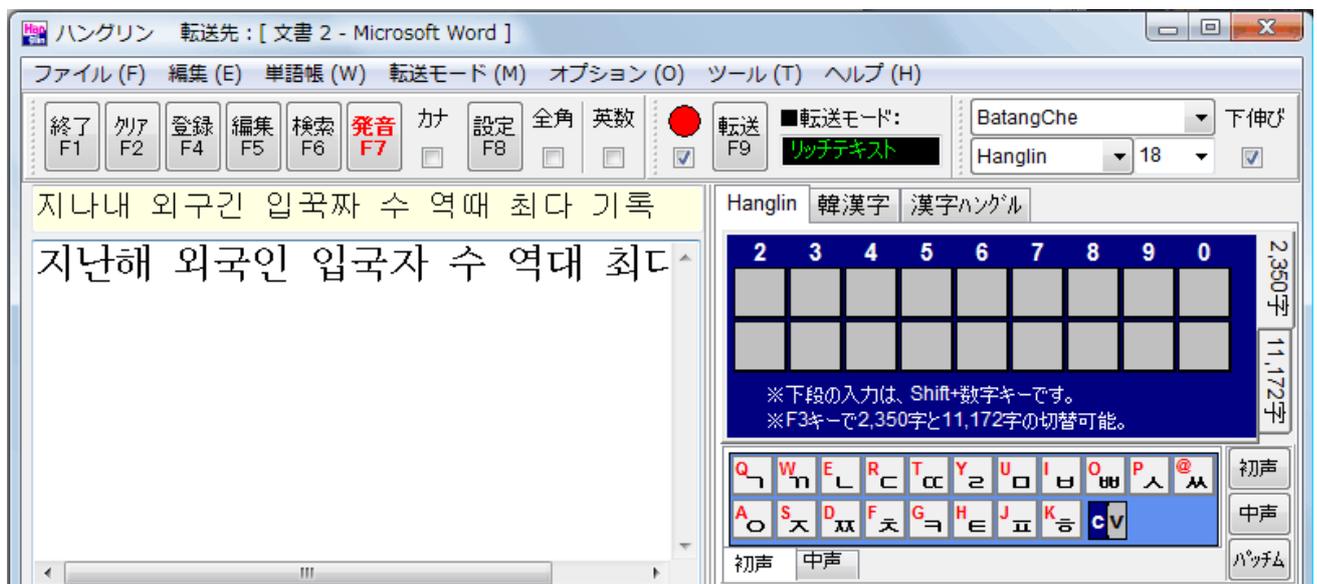
ハン格林の入力エリアはメモ帳と同じプログラム上の部品（コンポーネント）を使っているため、通常のコピー&ペースト機能だけだとフォント情報（文字サイズやフォントの種類）はなく文字コードだけになり便利ではありません。ハン格林では文字転送を行う場合、入力されたハングルをリッチテキストや 16 進数値文字参照等の形式に変換してクリップボードに置きます。

2) 転送ボタンで一発転送（ファンクションキーの F9 でも OK）

通常多くのアプリケーションでは、編集メニューを用いて文字列を他のアプリケーションに入力する場合、文字選択、[コピー]、[貼り付け]と 3つのステップを必要としていました。これだと手間がかかります。ハン格林では「転送」ボタンを押したら、一発でハングルを目的のアプリケーションに転送（自動貼り付け）できるようにしています。

3) 転送先を教える

一発転送するには、転送先の画面がどれか、ハン格林が認識している必要があります。そのため転送する前に 1 度、目的の画面の文字を入力したい箇所をクリックして下さい。ハン格林はハン格林以外の画面にカーソルが移動した際、0.25 秒に 1 度、最前面にある画面が何であるかをチェックします。もし最前面の画面が変わった場合は転送先を更新します。現在、どの画面を転送先として認識しているかは、ハン格林の最上部のキャプションに、転送先の画面のキャプション（Microsoft Word などの文字）を表示しているので、確認することができます。転送先を認識している場合、転送先インジケータが赤丸になるので確認できます。なお、自動貼り付けを行わない場合は、●転送先インジケータの下「自動貼り付けチェック」のチェックを外して下さい。



4. 2 転送モード

転送モードは以下の4つです。これらはメニューの[転送モード]で切り替えが可能です。

- ① リッチテキスト (標準転送)
- ② 16進 数値文字参照
- ③ 10進 数値文字参照
- ④ Unicode テキスト

ワープロソフトやメールソフトは標準のリッチテキストがいいでしょう。HTML テキストでファイルの形式が Unicode ではなく ASCII 形式で、文書を保存したい場合、またはインターネットの掲示板で多言語対応が十分でない可能性がある場合など、②または③を用います。

また読みハングルを他のアプリケーションに転送したい場合、読みハングルエリアでマウスの右ボタンから Popup メニューを出し、ハングル入力エリアにコピー&ペーストして下さい。

4. 3 転送オプションとアドバイス

4. 3. 1 転送オプション

1) 転送後クリア

ハングルインで文字を入力後、次々に他のアプリケーションに異なる文字を転送する場合、転送後に入力画面をクリアしたほうが効率的です。

■操作：

- ① [設定]ボタンを押し、設定画面を出します。
- ② [入力]タグを選びます。
- ③ 「転送後クリア」チェックにチェックを入れます。

2) 入力文字サイズ固定

ハングルの入力文字サイズを大きな値にし、転送先のアプリケーションには印刷時の文書の文字サイズに合わせて11等にするという場合、入力文字サイズと転送文字サイズを別に設定できます。

■操作：

- ① [設定]ボタンを押し、設定画面を出します
- ② [全般]タグを選びます。
- ③ 「入力文字サイズ」チェックにチェックを入れ、入力エリアの文字サイズを指定します。

※この設定をすると、主画面の文字サイズ指定は、転送字の文字サイズになります。

4. 3. 2 アドバイス

転送ボタンを押しても自動貼付けされない場合があります。ひとつは、ハングルインが転送先を認識できていない場合です。その場合、ハングルインのキャプション(最上部)に転送先の画面のキャプションが表示されているか確認して下さい。もしない場合は、転送先を再度クリックして下さい。

それでも自動貼り付けされない場合、転送先アプリケーションの[編集]メニューの[貼り付け]を選んで、手動で[貼付け]をして下さい。ハングルインは「転送」ボタンを押した時、必ずクリップボードには文字列を置きますので、[貼り付け]操作を行うと、文字は転送できます。

5. 単語帳の使い方

5. 1 単語帳の仕組み

1) ファイルの形式

単語帳はユニコードのテキストファイルに保存します。データの形式はカンマ区切りです。カンマ自体も登録単語（文章の中で使う）に含められるように、各項目をダブルクォテーションで括弧します。また、備考欄が複数行保存できるように改行コードを、「#\$0D」という文字列に変換し、1行にしています。

2) 使用するフォルダ

ハングリンでは、標準フォルダと辞書フォルダの2つの単語帳フォルダがあり、それらを単語帳メニューにある「辞書」ボタンで切り替えられるようにしています。標準フォルダと辞書フォルダの初期値はそれぞれ、以下のとおりですが、共に変更可能です。5. 6. 3に詳述します。

([設定][単語帳フォルダ]タグの中で)

- ① 標準フォルダ・・・bookA （各自のドキュメントフォルダ¥JeanLuca¥Hanglin¥bookA）
- ② 辞書フォルダ・・・bookG （各自のドキュメントフォルダ¥JeanLuca¥Hanglin¥bookG）

※注意：新たに作ることができる単語帳フォルダは各自のドキュメントフォルダの下の¥JeanLuca¥Hanglinの下に作られたフォルダに限ります。

3) 単語帳のプロパティ

単語帳は、以下のプロパティを持ちます。

- ① タイトル
- ② グループ
- ③ 音声フォルダ（Ver6では使っていません。）

グループは単語帳メニューの中で単語帳のタイトルを近接表示させたい場合に指定します。例えば「あいさつ」「買い物」「レストラン」などと定めます。指定しなくても問題はありません。また後から変更も可能です。

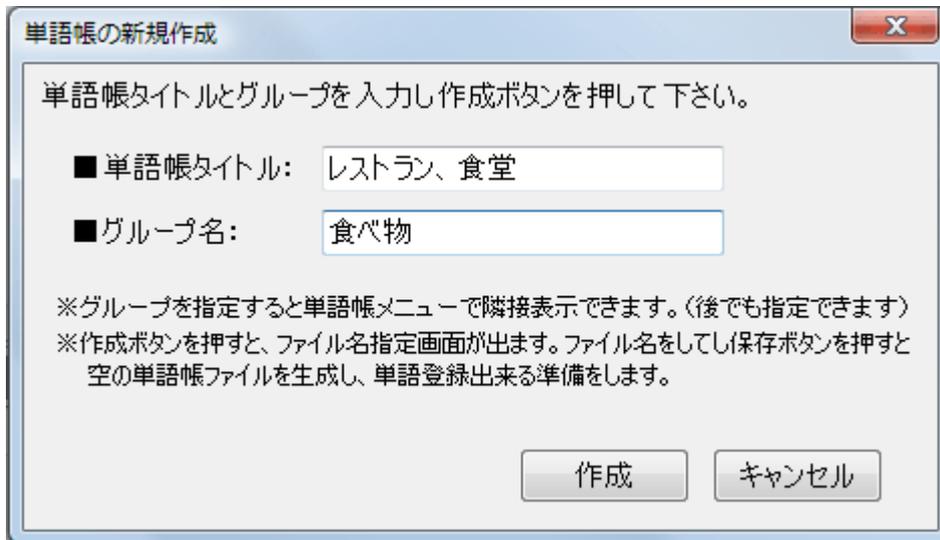
4) 単語帳の項目

単語帳は以下の6つの項目からなります。

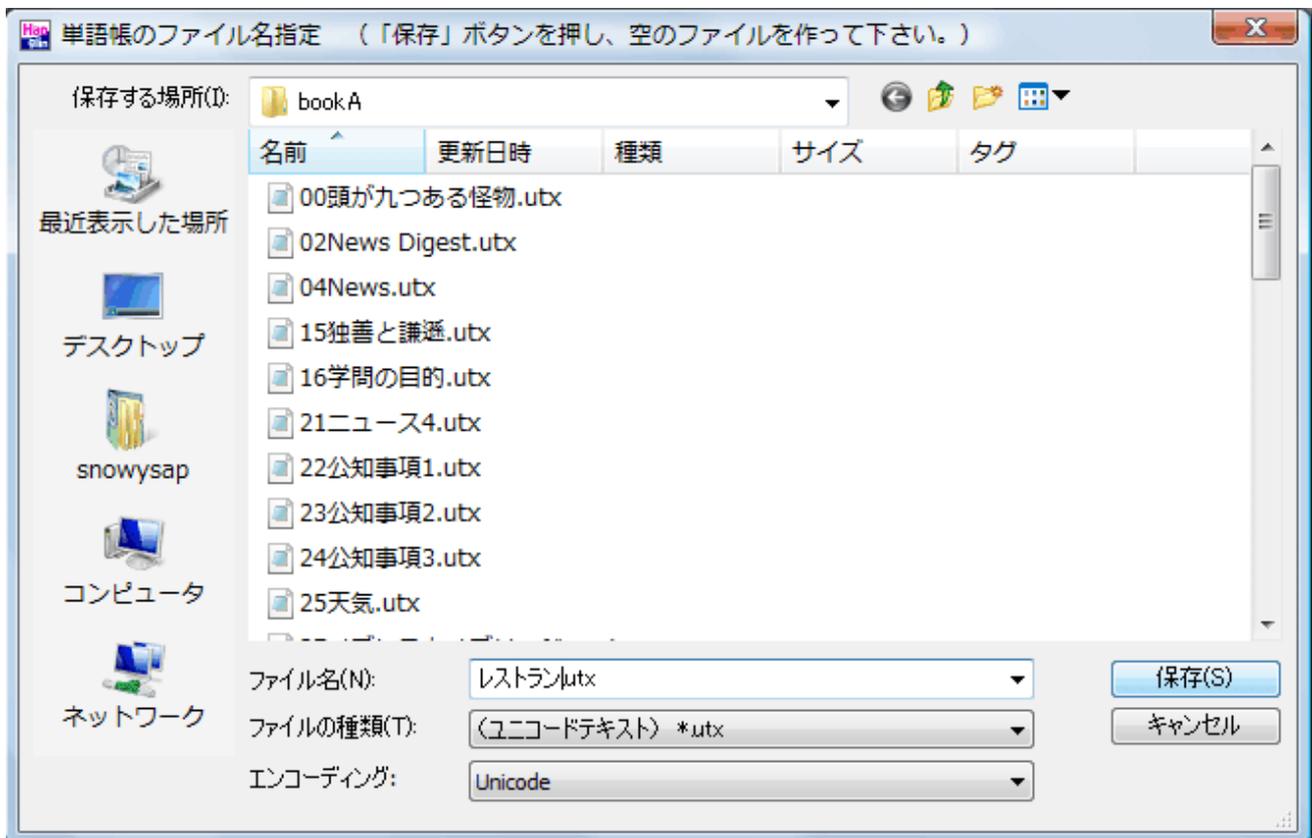
- ① 韓国語
- ② 読みハングル
- ③ 発音カナ
- ④ 日本語
- ⑤ 備考（複数行表示が可能）
- ⑥ 文字色（この項目は、単語リストには表示されません。）
- ⑦ 音声ファイル名（この項目は、現在は利用しません。）

5. 2 単語帳の新規作成

単語帳メニューにある「新規作成」ボタンを押すと、下の図の「単語帳の新規作成」画面が表示されます。



必要な項目を入力して「作成」ボタンを押すと、ファイル名指定画面が表示されます。デフォルトはタイトルがファイル名ですが、ご自由に編集して下さい。最後に「保存」ボタンを押すと空の単語帳ファイルが生成され、単語リストの初期化を行い、単語を登録できるようになります。



5. 3 単語登録

新たに単語を登録するには、以下の手順で行って下さい。なお主画面にハングルや読みハングルが入力されている場合は、それらを登録する単語の内容と考え、初期設定します。

■手順：

- ① 単語帳メニューで単語帳を選びます。
- ② 主画面でハングルを入力します。
- ③ 画面上部の「登録」ボタンを押すか、ファンクションキーF4を押します。
- ④ 「発」ボタンまたはファンクションキーF7を押すと読みハングルと発音カナをセットできます。
- ⑤ 最後に「追加」もしくは「挿入」ボタンを押します。

※補足：日本語と韓国語は必須項目です。

単語登録 (韓国語と日本語は必須です)

■韓国語 맥주 한 병 주세요. 発

■読みハングル 맥주 한병주세요.

■発音カナ 메ックチュ 한비ョンジュ세ヨ.

■日本語 ビール1本下さい.

■備考

No Noの上に 挿入 登録 (F4) キャンセル

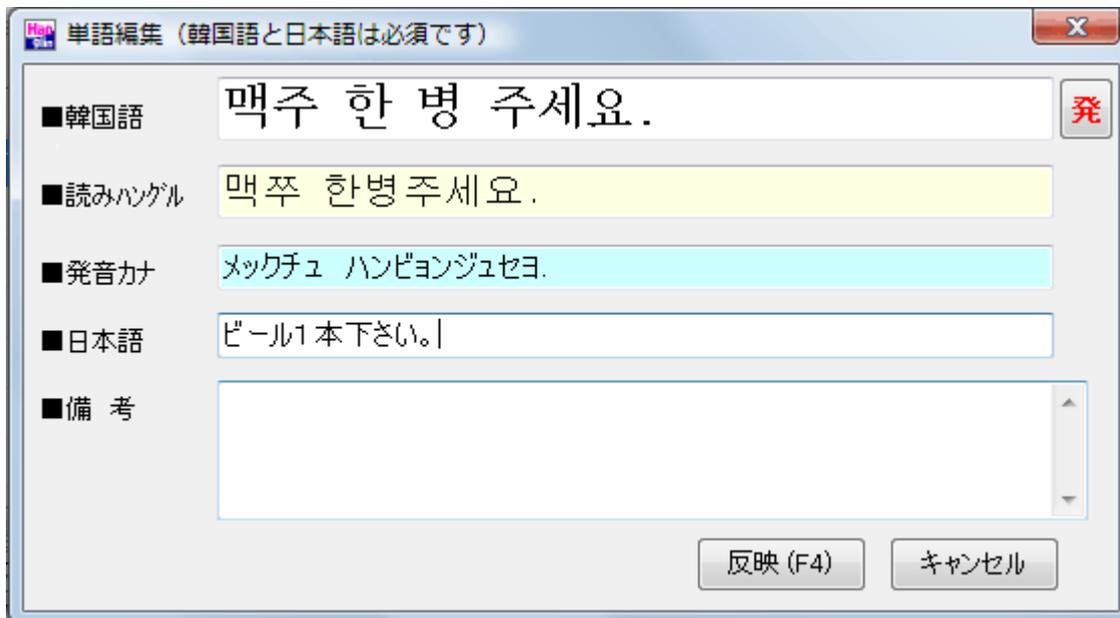
5. 4 単語編集

すでに単語帳に登録されている単語を編集する場合は以下の手順で行って下さい。

なお、単語編集は、編集をしなくても登録されている単語の項目の全内容を確認するのによく使うと思いますのでファンクションキーの **F5** は覚えておいて下さい。

■手順：

- ① 単語帳メニューで単語帳を選びます。
- ② 単語リストで編集したい単語をクリック選択します。
- ③ そこで画面上部の「編集」ボタンを押すか、ファンクションキーの **F5** を押します。
- ④ すると単語編集画面が表示されます。編集して下さい。
- ⑤ 最後に「反映」ボタンを押します。



5. 5 単語帳検索

1) 検索の概要

■手順:

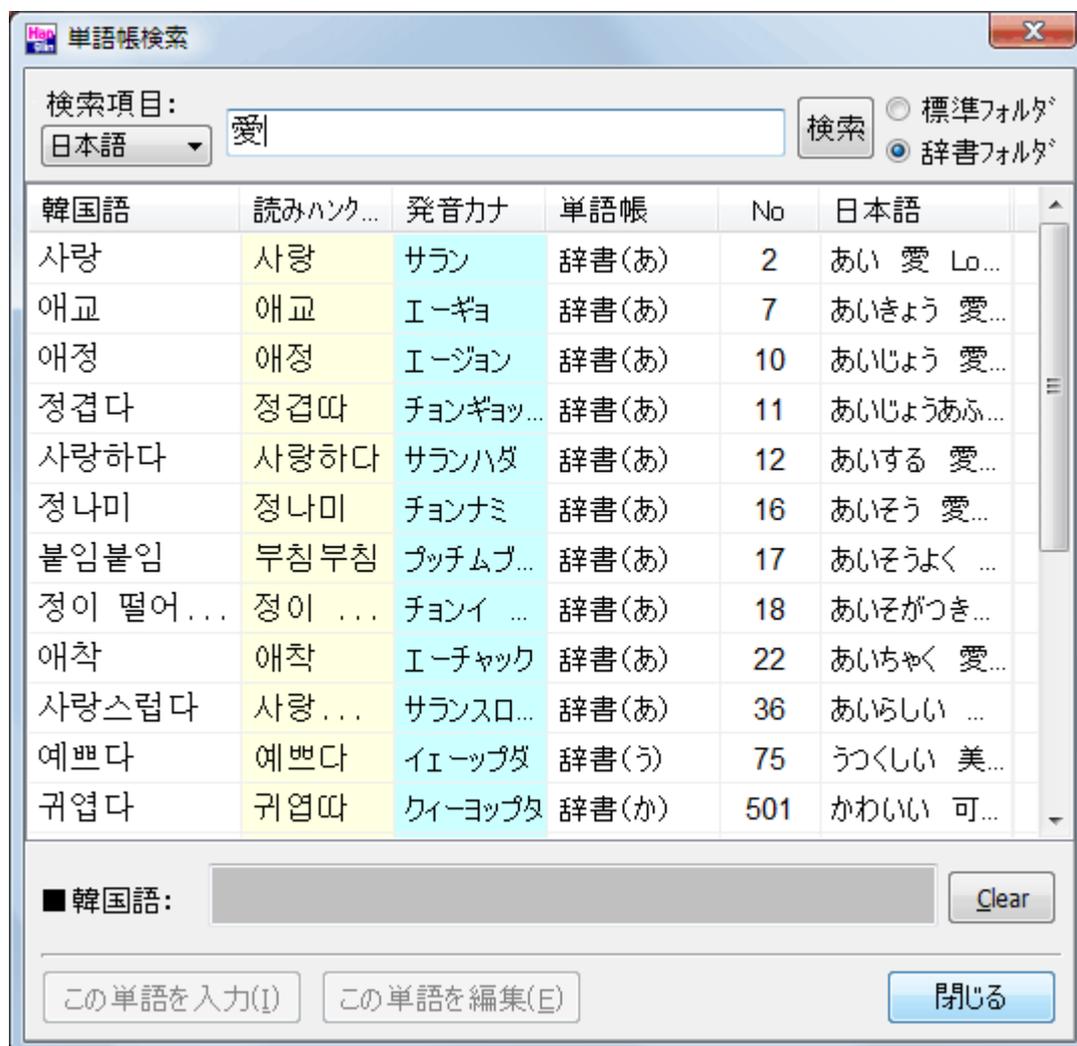
- ① 標準フォルダか辞書フォルダかフォルダを選びます。(フォルダ内単語帳が検索対象です)
- ② 検索項目を指定します。
- ③ 検索窓に文字列を入力します。最後にエンターキーを押すか「検索」ボタンを押します。

※備考: 単語帳検索画面は縦横両方向に拡大縮小ができます。

2) 検索結果の解釈

検索結果で、入力文字列と単語の項目が完全に一致した場合は No の項目に[*] (アスタリスク) が付加され、最上段に表示されます。

なおプレインストールの辞書は日本語項目が「ひらがな 漢字を含む語」で構成されているので、例えば「愛する」という動詞だけを知りたい場合は「あいする 愛する」と入力します。



3) 検索結果の単語をすぐに利用したい場合

検索結果から目的の単語をクリックで選びます。「この単語を入力」か「この単語を編集」ボタンを押します。「この単語を編集」は、該当単語を含む単語帳をロードし「単語編集」で表示します。

5. 6 各種単語帳操作

5. 6. 1 単語帳について

1) 単語帳のタイトルやグループを変更する

■操作→ 単語帳メニューで単語を選択後、Popup メニューで「単語帳のプロパティ変更」

※単語帳メニューでポップアップメニューを使う場合は、自動ドアチェックを外します

2) 単語帳を削除する

■操作→ 単語帳メニューで単語を選択後、Popup メニューで「単語帳の削除」

5. 6. 2 単語について

1) 単語を移動する

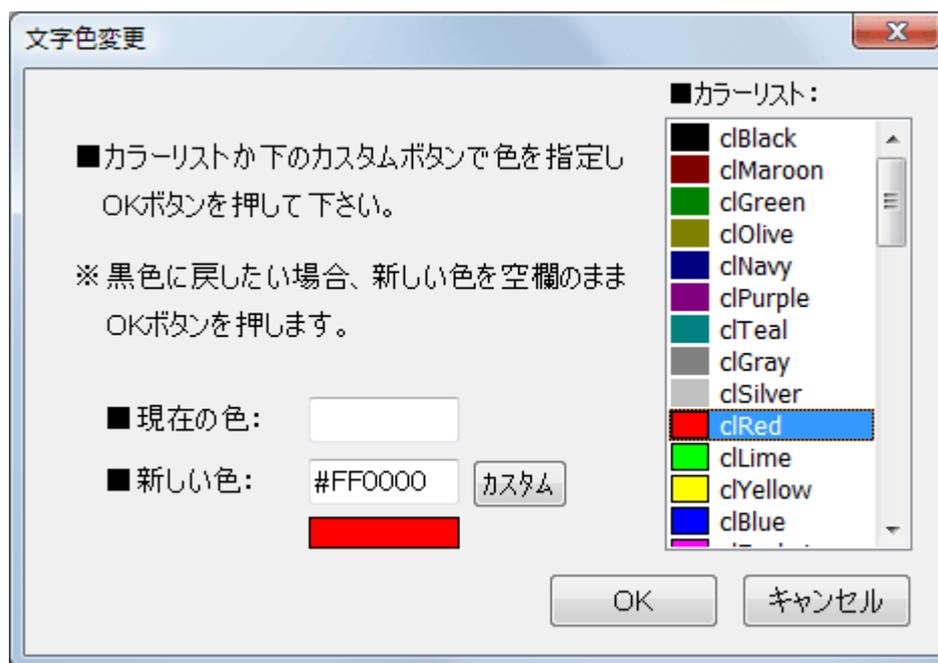
■操作→ 単語リストで単語をクリックした後、Popup メニューで[単語の移動]を選ぶ。すると移動先を指定する画面が表示されます。移動先の番号 (No) を選び[OK]ボタンを押すと、該当単語が挿入される形で移動します。

2) 単語を削除する

■操作→ 単語リストで単語をクリックした後、Popup メニューで[単語の削除]を選ぶ。すると削除していいか聞いてきます。[はい]ボタンを押すと、削除します。

3) 単語リストのある単語の色を変更する

■操作→ 単語リストで単語をクリックした後、Popup メニューで[単語の文字色変更]を選ぶ。すると色指定画面が表示されます。ここでカラーリストをクリックすると、新しい色の欄にその色の RGB を示す 16 進の値が表示されます。[OK]ボタンを押します。もしカラーリストにない色にしたい場合は、「カスタム」ボタンを押します。すると任意の色を指定できる画面が出ます。そこで色を指定して下さい。指定した色を黒に戻したい場合は、新しい色の欄を空欄にしたまま[OK]ボタンを押して下さい。

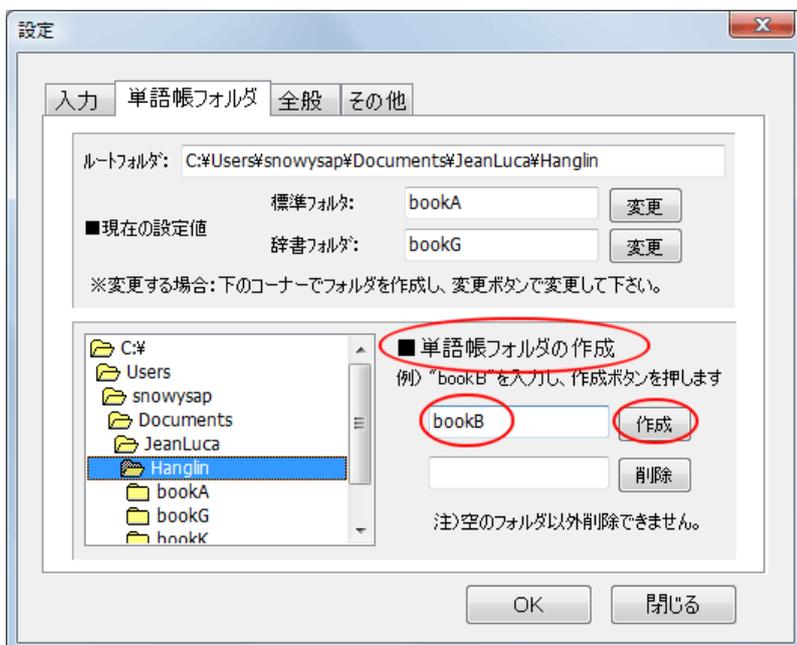


5. 6. 3 単語帳フォルダを変更する

最初に「設定」ボタンを押し、設定画面を出します。そこで「単語帳フォルダ」タグを選びます。

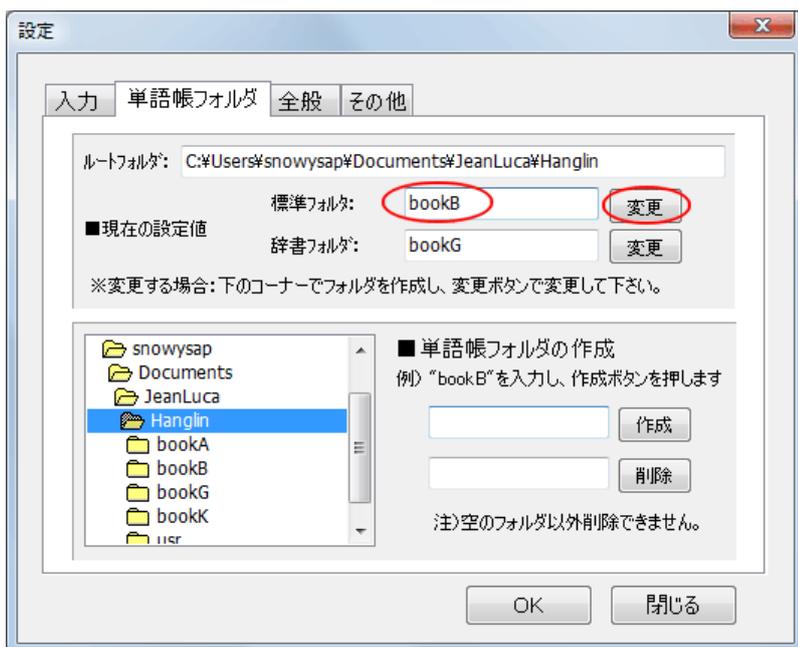
1) 新しい単語帳フォルダを作る：（例：標準フォルダを新たに作った bookB に変更する）

まず画面下部の「単語帳フォルダの作成」にある上段の入力エリアにフォルダ名を入力し、「作成」ボタンを押します。・・・作成できるとその左にあるディレクトリーにフォルダが表示されます。



2) 新しく作ったフォルダを標準フォルダに設定する：

画面の上部の標準フォルダの欄の「変更」ボタンを押します。フォルダを指定する画面が現れるので、そこで今作った bookB を選びます。この状態で「OK」ボタンを押し設定画面を閉じると、変更したフォルダが有効になります。



5. 7 単語帳オプション

単語帳の使用に関する各種オプションです。

1) 韓日・日韓を変更する

■操作→ 単語帳メニューの韓日または日韓のラジオボタンを押します。設定を変えても単語帳ファイルは変わりません。

2) 項目をソートする

■操作→ 単語リストの項目をクリックすると、ソートするか聞いてきます。「はい」を選ぶと、ソートします。これは昇順、降順のトグルになります。

3) リセットインプット

単語リストをダブルクリックすると入力エリアに単語が入力されますが、その際に、それ以前に入力エリアにある文字列をクリアすることができます。

■操作→ [設定][入力]で「リセットインプット」にチェックを入れます。

4) 最下行表示

単語帳メニューで単語帳を選んだ時、初期値では、単語リストには No1 の単語が必ず表示されるようにロードされます。これを最後に登録した単語を表示するようにできます。

■操作→ [設定][入力]で、「最下行表示」にチェックを入れます。

5) 登録後クリア

続けて単語を登録する場合、単語登録した後に、主画面をクリアしたほうが便利な場合があります。そこでこのオプションを作りました。

■操作→ [設定][入力]で、「登録後クリア」にチェックを入れます。

6) 空の辞書ファイル一括生成

プレインストールの辞書ではなく、自分で一から辞書を作りたい場合に、新たに単語帳フォルダを作り、そこでこのメニューを実行します。すると、あいうえお順の 46 個のから空の辞書ファイルを生成します。なお、すでに辞書ファイルのあるフォルダでこの操作をすると、ファイル名が重ならないような名前のファイルを生成します。タイトルは重なる可能性もあります。

■操作→ [単語帳][空の辞書ファイル一括生成]

7) サンプル更新

バージョンアップの際にデフォルトでは、bookA フォルダ内のサンプル単語帳と bookG フォルダ内の辞書単語帳をともに更新します。もしプレインストールの辞書に加筆した場合は、このチェックをはずさないと、加筆した部分が消えるので、残したい場合はチェックを外して下さい。

■操作→ [設定][全般]タグ内の「サンプル更新」にチェックを入れます。

8) 辞書更新

バージョンアップ時ではなく任意のタイミングで、bookG 中の辞書を最新の辞書に変更することができます。

■操作→ [設定][全般]タグ内の、「辞書更新」ボタンを押します。一度確認のメッセージがでますので、「はい」を選ぶと、辞書データを更新します。サンプル更新オプション同様、加筆していた場合は、クリアされますので、気をつけて下さい。

6. ハングル発音変換

6. 1 操作

ハングルは、単に字母をそのまま読めばいいものではなく、字母と字母の関係で発音に変化する規則があり、それらの発音変化を経た発音をしなくてはなりません。ハングリンでは韓国語の発音規則をプログラム化し、自動で発音を得られる機能があります。

1) 発音を得るための操作：

主画面でハングルを入力した後、画面上部の赤字の「**発音**」ボタンを押すか、ファンクションキーの F7 キーを押します。するとハングル入力エリアの上の発音エリア(1行)に発音を表示します。画面上部のカナチェックにチェックが入っている場合、カタカナの発音を表示し、カナチェックを外すと読みハングルを表示します。

また単語登録画面と単語編集画面でも「発」ボタンを押すか、ファンクションキーの F7 を押すと、読みハングルと発音カナの欄に発音を表示します。

2) 発音規則の適用過程を知りたい場合：

主画面にハングル文を入力した後、単語リストの裏にある「発音変化」タグを選びます。

この画面ではハングル文章のどの部分に、どのような発音規則が適用されてどう変化したか、の過程を表示します。結果は読みハングル、発音記号、発音カナの3種類です。また、分かち書きのスペース調整を行って、再度発音を知りたい場合、[**発音 2**]ボタンを押します。なお規則名（鼻音化3など）をクリックすると、発音規則の説明を、IE を開き、表示します。

単語リスト | 記号と字母 | 發音變化

分かち書きの調整: 옛날, 어느 산속에 머리가 아홉달린 괴물이 살고있었다. **發音 2**

■元の文章: 옛날, 어느 산속에 머리가 아홉 달린 괴물이 살고 있었다.

2: 数詞: 옛날, 어느 산속에 머리가 아홉달린 괴물이 살고 있었다.

3: 分かち書き調整: 옛날, 어느 산속에 머리가 아홉달린 괴물이 살고있었다.

7: 濃音化1合成語: 옛날, 어느 산**속**에 머리가 아홉달린 괴물이 살고있었다.

18: 連音化2: 옛날, 어느 산**쏘**게 머리가 아홉달린 괴**무**리 살고**이**썼다.

21: 鼻音化3: **연**날, 어느 산**쏘**게 머리가 아홉달린 괴**무**리 살고**이**썼다.

26: 濃音化9: 연날, 어느 산**쏘**게 머리가 아홉**딸**린 괴**무**리 살고**이**썼**따**.

30: 有声音化: 연날, 어느 산**쏘**게 머리가 아**홉**딸린 괴**무**리 살**고**이썼**따**.

■發音記号: jen nal, ɔ nu san 'so ge mo ri ga a fio^h 'tal rin kwe mu ri sal go i 'so^t 'ta.

■發音カナ: イェンナル, オヌ サンソゲ モリガ アホップタルリン ケムリ サルゴイツソッタ.

■適用オプション:
 弱音化 強め
 弱音化 普通
 鼻濁音
 激音にッ+
 N挿入
 Ye->E
 リアル文末
■濃音のIPA表記:
子音前アポストロフィ

●タイトル: [00頭が九つある怪物] ●単語帳ファイル: C:\Users\snowysap\Documents\JeanLuca\Hanglin\bookA . . . [554]

6. 2 仕組み

このハングル発音変換はジャンルカ学習ソフト（代表 今井隆行）が独自に作った方法で、ハングルバネ棒というソフト（公開は停止）で実装済みです。今回は、それに改良を加え、ハングリンの辞書（約1万アイテム）で検証したものが入っています。

このハングル発音変換の中心は、ハングル字母分解です。ハングル1文字を初声+中声または初声+中声+パッチムの2文字か3文字の文字コードで表現します。これはユニコードの **Hangul Jamo** 領域の文字コードに対応します。そして、例えば鼻音化の規則「ㄷパッチムの後ろにㄴまたはㄹ初声が続いた場合、ㄷパッチムは鼻音化してㅇ終声になる」といような字母間の発音変化規則は文字列置換を用いて実現します。またN挿入や濃音化など字母間の規則ではなく、一語一語覚えなくてはならないルールもあります。それらはファイル読み込みで判断します。

なお、元になるハングル文章は分かち書きされた文章とします。これを読みハングルに変換し、さらに発音記号と発音カナを得ます。その際、分かち書きは、一気に読むハングルの塊の区切りとして扱うので、一気に読む部分の中に含まれる分かち書きは省きます。これを「分かち書き調整」と呼んでいます。このことで、ひとつの単語の範囲を超えた発音変化を得ることができます。

6. 3 オプション

ハングル発音変換では以下のようなオプションを用意しました。

- 1) 弱音化を強めに適用する・・・弱音化強め
 - ・母音に挟まれた初声は無音化します。
- 2) 弱音化を普通程度に適用する・・・弱音化普通
 - ・有声子音と母音に挟まれた初声は無音化します。
- 3) 鼻濁音を適用する・・・鼻濁音
 - ・パッチムの後ろに母音がある場合、ng音、即ちカナでは「ング」で表記します。
- 4) 激音のカナ表記に小さいツを加える・・・激音にッ
 - ・例： 같이 (一緒に) →가치→ カナを「カチ」ではなく「カッチ」にします。
- 5) N挿入を適用する・・・N挿入
 - ・すでにファイルに記憶されているN挿入単語、語句（自動でチェックする）以外の、条件だけに基づくN挿入するか否かを、ユーザーに問いながら定めるようにできます。
- 6) Ye→Eを用いる・・・Ye→E
 - ・標準では母音またはハ初声以外につくㅈを[je]→[e]にしますが、語頭以外の母音も[e]で発音するオプションです。(例： 猶予：유예→유에 (ユエ)、手芸：수예→수에 (スエ) これらは、それぞれユイエ、スイエと発音するケースもあるようですのでオプションにしています)
- 7) リアル文末表現を適用する・・・リアル文末表現
 - ・例えば「そうです」と言う相槌を「クロッスムニダ」ではなく「クロッスンミダ」にします。
- 8) 濃音の発音記号の表示方法・・・3種類
 - [1] 子音前に声門閉鎖記号 (Glottal Stop) を付ける
 - [2] 子音前にアポストロフィを付ける・・・初期値
 - [3] 子音の後ろにアポストロフィを付ける

7. こんな時はどうする

1) 自動貼り付けでハングルが入力できない時がある

- ・ハングルの主画面の最上段に、転送先の画面の名称（WORD など）が表示されているか確認して下さい。もし、表示されていない場合は、もう一度、転送先画面をクリックして下さい。
- ・どうしても自動貼り付けできない場合は、転送先のアプリケーションの「編集」メニューから「貼り付け」を選び、手動で貼り付けを行って下さい。

※補足：ハングルで「転送」ボタンをおした時、クリップボードには必ず文字列を置きます。

2) ショートカットをダブルクリックしてもソフトが起動しない。

- ・もしインストールがうまくいって、デスクトップのショートカットをダブルクリックしたのに起動できないのであれば、ウィルス対策ソフトがハングルを危険なソフトとして認識し検疫している可能性があります。そのような場合はハングルを安全なソフトとして指定して下さい。例えば、Norton の 360 では、検疫履歴からハングルを探し出し、復元すると直ります。

3) 読みハングルを他のアプリに転送したい場合

- ・読みハングルのフォント情報（フォントの種類や文字サイズ）が不必要な場合は、マウスの右ボタンから Popup メニューを出し、「コピー」を選び、転送先で「貼り付け」を行って下さい。
- ・もし、Word などワープロソフトでフォント情報も必要な場合は、読みハングルを一旦ハングル入力エリアにコピー&ペーストしてから「転送」ボタンで転送して下さい。

4) 設定値を初期値に戻したい場合

- ・最初にインストールした直後の状態に戻したい場合は、以下の操作を行って下さい。

■操作→ [設定][その他]タグで「Reset」ボタンを押します。一旦終了し、環境情報を保存しているファイルを削除し初期状態に戻ります。再起動すると最初の状態に戻ります。

5) 画面を拡大した時、単語リストではなく入力エリアを大きくしたい場合：

- ・画面拡大時に、連動して廓大する部分の箇所を変更できます。

■操作→ 主画面の右上端にある「下伸び」チェックのチェックを取ります。

6) Google 翻訳ページを開きたい場合：

- ・このソフトにはインターネットエクスプローラを起動し、Google 翻訳のページにアクセスするメニューがあります。

■操作→ 主画面の[ツール][IE を起動し、Google 翻訳ページにアクセス]を選びます。

7) 非ユニコードの HanglinGT の単語帳を、Ver6 の Hanglin で使えるようにしたい場合：

- ・変換ツールが有ります。

■操作→ 主画面の[ツール][単語帳変換ツール]を選びます。フォルダ単位でそのフォルダに含まれる単語帳をすべて変換します。

8. ライセンス契約

ジャンルカ学習ソフト（甲）とお客様（乙）は、本ソフトウェア（ハンダリン）に関して、以下のソフトウェア使用許諾契約を結ぶものとします。この内容に同意できない場合は本ソフトウェアを使用することはできません。

第1条 ソフトウェアの内容

本ソフトウェアは、プログラムファイルとそれに付属するファイルから構成され、自己解凍形式のファイルで提供されます。また本ソフトウェアはシェアウェアの形態で提供されファイルを解凍した時点で試用制限を有します。

第2条 試用段階での制限事項と正式版への移行

ソフトウェアをインストールした直後は以下のような試用制限があります。ライセンス料を送金し、送られてきたライセンスキーを本ソフトウェアに登録すると試用制限は解除されます。

[試用制限]

1. 1度に他のアプリケーションに転送できる文字数（最大5個）
2. 1つの単語帳に保存できる単語の数（最大10個）
3. 1つの単語帳フォルダに保存できる単語帳の数（最大5個） ハングル発音変換で一度に変換できる文字数（最大20文字）

第3条 使用条件

本ソフトウェアを使うにあたり、以下の条件をお守り下さい。

[使用条件]

1. 乙は、本ソフトウェアを譲渡してはいけません。
2. 乙は、ライセンスキーを譲渡したり、他人に教えたりしてはいけません。
3. 乙は、私的使用の目的である限り、1つのライセンスで2台まで同時に使用することができます。私的使用とは事業用でない使い方を指します。
4. 乙が、法人、団体、学校の場合、または個人であっても事業用として用いる場合（語学教室など）は、本ソフトウェアをインストールするコンピュータの台数分のライセンスを購入する必要があります。
5. 本ソフトウェアは、自己解凍形式のままである限り、自由に再配布できますが、雑誌付録やネットワーク上など不特定多数に公開する場合、事前に甲の許可を必要とします。
6. 乙は、本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、又は逆アセンブルしてはいけません。

第4条 免責

甲は、乙が本ソフトウェアを導入したことによって生じたいかなる損害やトラブルについて一切責任を負わないものとします。

第5条 品質保証

甲は、本ソフトウェアの誤りを発見、修正した場合、修正情報又は修正プログラムを乙に提供できるようにします。

9. サポート

1) サポートサイト

- ・最新版のソフトをダウンロードできるサイトを用意しています。そこではソフトに関する情報提供もしております。掲示板もありますので、質問や意見などありましたら書き込んで下さい。

■サイト名： 「Superscript (スーパースクリプト)」

■URL： <http://superscript.sakura.ne.jp/>

2) メールによるサポート

- ・作者はジャンルカ学習ソフトという屋号の個人事業主です。代表者でありソフトの作者の名前は今井隆行です。メールで質問対応をさせて頂いています。

■メールアドレス： imai@superscript.sakura.ne.jp

■対応者： 今井 隆行 (ジャンルカ： ハンドル名)

※お願い：電話でのサポートは行っておりません。電話代が高くなるためです。

10. 参考文献

- KBS 韓国語研究会 編著 (2013) 「改訂版 KBS の韓国語標準発音と朗読」 HANA
- 大村益夫、権泰日共著 (2001) 「わかりやすい朝鮮語の基礎」 東洋書店
- 金裕鴻著 (1999) 「しっかり身につく韓国語」 ベレ出版
- 秋美鎬著 (2008) 「韓国語発音ガイド 理論と実践」 白帝社
- 前田真彦著 (2013) 「韓国語発音クリニック」 白水社
- 油谷幸利 他編集 (2001) 「朝鮮語辞典」 小学館
- 国際音声学会 編 (2003) 「国際音声記号ガイドブック」 大修館書店